

事務事業調書 平成23年度	No 546	課名 公園緑地課	起案者 稲垣央
事業種別 施設整備		係名 公園緑地係	決裁者 石川勝己
事務事業名 公園整備事業		区分 継続	業務一覧No 1
			他係名
			他係業務一覧No

### 1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 1 緑 2 公園・緑地 1 公園・緑地の整備 5 未開設公園の整備		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	40-20-10
			総合計画以外の計画	緑の基本計画
			関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業		法定受託事務	無
根拠法令	無			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開始	平成元年度	経過	22年目
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

### 2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民に憩いとうるおいの場になる公園が	~になる	整備される
事務事業の内容	市民に潤いと憩いの場を提供する役割とともに、環境保全や防災、景観形成などの重要な役割を担う公園を計画的に整備します。 また、社会情勢の変化の中で、市民ニーズに応える公園整備が今まで以上に必要ですので、公園設計においては市民の意見を積極的に取り入れ、市民が愛着の持てる公園づくりを目指します。			
事務事業進捗状況	荒曽根公園整備面積 1.2/2.8(ha) H22は多目的広場を整備しました。 池浦西公園整備面積 1.3/2.1(ha) H22は実施設計を策定しました。 桜井中央公園整備面積 1.0/2.2(ha) H22は雨水排水路、トイレを整備しました。 桜井土地区画整理事業地内整備公園数4/9(箇所) H22は9号公園の実施設計を策定しました。			
改善・対策の履歴	平成10年度より、公園設計段階において地域住民の参加によるワークショップ(公園づくり意見交換会)を実施し、市民ニーズを公園計画に反映し、愛着感を持てる公園整備を行なっています。 平成21年度より、地域住民に植樹作業に関わっていただき、公園に対する関心を高めてもらうと共に樹木の大切さを感じていただくため、植栽祭を実施しています。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○ 03 身近な緑の保全と創出 01 公園や広場等の市民が憩う場の整備 01 公園整備の推進			

### 3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	157,196	335,520	61,828	134,641	188,937	189,158	267,378	
財源計 a	137,618	315,942	42,250	115,063	170,865	171,839	247,800	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	30,000	40,000	40,000	63,350
	県支出金	0	900	0	0	0	3,000	11,000
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	137,618	315,042	42,250	85,063	130,865	128,839	173,450
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	19,578	19,578	19,578	19,578	18,072	17,319	19,578	
内訳 従事職員数	2.60	2.60	2.60	2.60	2.40	2.30	2.60	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	公園整備工事	見込(単位)	3.00	2.00	4.00	4.00
				実績b(単位)	3.00	2.00	4.00	
		指標名(単位)	都市公園数(箇所)	活動の総事業費f 実績	132,024	121,424	165,406	
				単位コストg=f÷b 実績	44,008.00	60,712.00	41,351.50	
	活動②	活動名(活動内容)	公園実施設計	見込(単位)	3.00	2.00	3.00	1.00
				実績b(単位)	4.00	2.00	3.00	
		指標名(単位)	公園実施設計数(箇所)	活動の総事業費f 実績	36,240	7,193	22,450	
				単位コストg=f÷b 実績	9,060.00	3,596.50	7,483.33	
	活動③	活動名(活動内容)	公園用地買収	見込(単位)	1.00	0.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	2.00	0.00	0.00	
		指標名(単位)	買収数(箇所)	活動の総事業費f 実績	167,256	0	0	
				単位コストg=f÷b 実績	83,628.00	0.00	0.00	

5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
成果	成果1	指標名・指標式(単位)		見込(単位)	85.00	86.00	87.00	87.00
		整備された公園(箇所)		実績(単位)	85.00	86.00	87.00	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)		見込(単位)	79.70	80.60	82.10	83.00
		整備された公園(ha)		実績(単位)	80.40	80.60	81.90	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	公園の設計段階で地域住民が参加したワークショップを開催したことで、地域の声を反映した公園を整備することができました。また、地域住民による植樹祭を実施し公園に関心を持ってもらうことができました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	植栽地のマルチング材にせん定枝チップを使用することで建設コストを下げました。公園植栽については工事で施工せず、市民による植樹を実施したことで、建設コストを下げました。国及び県の補助金を受けることで、一般財源の負担を少なくすることができました。
	成果1,2	リサイクル材(せん定枝チップ)の使用及び雨水浸透柵を使用することで、環境に配慮しました。植栽地にマルチングをすることで、維持管理費の軽減を図りました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	建設だけに限らず、維持管理でも費用のかからない公園計画に努め、将来に亘ってコスト縮減に努めます。国および県の補助金の対象となる事業については、出来る限り補助金を受けられるように努め、一般財源に負担を少なくします。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	本事業は市民に憩いと潤いの場が提供できるものであり、また、総合計画の中でも都市基盤の自然と共生した環境づくりが目標とされていますので、継続して事業を進める必要があります。